

一步前進 校長室からのつぶやき

私自身が思っていること、考えていることをつぶやきたいと思います。

学校給食を振り返ってみよう (好き嫌い等での残食はないですか？)

給食しっかり食べていますか。前週学校給食の会に出席してきました。毎日、出されている給食ですが、この給食を当たり前に考えているとよくないと思い、今回この給食について、伝えたいと思います。

これまで（令和5年度まで）は、主に保護者負担だった給食費ですが、昨年度から志布志市では、無償化になり、各家庭にとっては、大変有難い状況になりました。なぜなら、その分家庭にとっては、別な教育費に充てることができるからです。

その一方で心配されることとして、フードロスの問題（残食）があります。飽食の時代で、好きなものしか食べなかったり、体形を気にして少量に押さえたりしていることなどが要因で、このような問題も発生するのだとは思いますが、本当に「もったいない」と考えます。

学校給食は、家庭の食事とは違い、栄養価や調味料等の加減、一人当たりの摂取量が決まりで設定しています。ですから、家庭の味とは若干違うとは思いますが、よく考えられた食事です。

また、無償化になったとはいえ、税金を活用しての食事です。これは、保護者の方をはじめ、様々な方が収めているお金です。

さらに言えば、この食事をつくるために、栄養士さんや給食技師さんらが、一生懸命、熱い中つくってくださるので、感謝してほしいのです。

もっと言えば、世界では、飢餓や戦争等で満足に食事を与えられない子供や大人たちが大勢いるのです。

このようなことを考えると本当に日本人は、志布志市の児童生徒は恵まれていると思います。是非、給食についてもう一度、しっかりと振り返り、考え、改めるべきことは改善してほしいと思います。

いつも当たり前にある給食ですが、本当に感謝していただいていますか。振り返ってみましょう。



